



「ディスカバ^む農山漁村^らの宝」選定による効果について

趣旨

「ディスカバ^む農山漁村^らの宝」に選定された後、どのような効果や変化があったかについて、23の選定地区に対しアンケート調査を実施。（平成26年9月実施）

〔主な調査項目〕

- 1．選定によりどのような効果があったか
- 2．選定以後、講演や視察の受入等を行っているか
- 3．他の団体等と新たな連携・協力関係が生まれたか
- 4．選定団体の取組を参考として、他の団体で新たな取組が開始されたり、発展した事例があるか

1．主な効果、知名度の向上

（主な回答）

- ・ 知事表敬等の様子が新聞、雑誌、テレビなどで取り上げられ、**知名度が上がった**
- ・ 取組の**参加者のやる気が上がった**
- ・ 来訪者、**来店者が増えた**

（その他の具体例）

- ・ ツーリズムEXPOジャパン、青空市場×行幸マルシェへの参加の機会を得て、**PRの機会が増えた**（篠島お魚の学校）
- ・ 親会社の社内広報誌やホームページで紹介され、**認知度が向上した**（ハートランド株式会社）
- ・ NHK総合の番組に取り上げられた（今帰仁アグー）



2．講演や視察等

- ・ 農政局より視察の受入れ・情報交換。また、企業から農業分野における**新規事業の可能性についての相談**があった。（えがおつなげて）
- ・ 「『元気とやま』むらづくり推進大会」（富山県主催）にて特別講演を行った（大長谷村づくり協議会）
- ・ 全国各地からの視察・研修を受入れ。また道の駅・駅長が普及のため全国で講演を実施。（ふるさと萩食品協同組合）



「ディスカバー農山漁村の宝」選定による効果について



3. 新たな連携・協力

- ・ ディスカバー農山漁村の宝選定団体同士で、現地視察及び農業研修を実施
(大長谷村づくり協議会が、住民自治されだに、えがおつなげて両団体を訪問)
- ・ 自治体(北海道・三重県)の要請を受け、都市農村交流事業を担う人材育成事業として、複数回にわたる出張講義・研究発表を実施(えがおつなげて)
- ・ 県の紹介により、新たに写真愛好家グループと連携した写真展を開催。また、農業研究機関の紹介により、地元のジュンサイ保存活動を実施(穴塚の自然と歴史の会)
- ・ 生産者から、消費者に直接アピールするため商店街を来訪したいとの相談が増えた
- ・ 守山女性部加工組合等、ディスカバー農山漁村の宝選定団体の出品を計画 (ハッピーロード大山商店街振興組合)
- ・ 県や地元食品会社と協同で新商品開発を行うこととなった(農事組合法人はなどう)
- ・ 銀座や新宿の飲食店等と取引が始まった
- ・ 今帰仁村長、今帰仁村商工会を交えて村の振興につき意見交換を予定(今帰仁アグー) 等



4. 取組の横展開等

- ・ 6次産業化で連携する団体が障がい者就労支援団体の運営する飲食店に魚介類を提供
(篠島お魚の学校)
- ・ 地元の食品会社が、地元産雑魚を原料とする新商品(オイル漬け缶詰)を開発
(ふるさと萩食品協同組合)
- ・ 養鶏経営者らが沖縄地鶏を、村商工会が在来種ヤギを、それぞれ試験・生産に向け計画中
(今帰仁アグー) 等

